



HIROSAKI
UNIVERSITY

プレス発表資料
PRESS RELEASE

令和6年5月2日

報道関係各位

国立大学法人弘前大学

市民参加型生物多様性調査イベント
「白神 BioBlitz 2024」の開催について

【本件のポイント】

白神自然環境研究センター（以下、センター）は、県内外から動植物の専門家、市民を集め、西目屋村川原平の弘前大学施設「白神自然観察園」において、市民参加型生物多様性調査イベント「白神 BioBlitz 2024」を開催します。

【本件の概要】

センターでは、県内の自然愛好団体らの協力を得て、白神山地の生物多様性についての総合調査を行なっています。

BioBlitz（バイオブリッツ）は、日本国内では馴染みが少ないものの、欧米を中心に20カ国以上で行われているイベントです。BioBlitzは単なる自然観察とは異なり、①子供を含む一般の市民と生物の専門家が一緒に活動し、②一定の決められた地域の生物多様性を、③一定時間（普通は24時間）の間にどれだけ調べられるかにチャレンジします。

昨年度来2回目の開催となります。



動植物の専門家と一緒に調査に参加してみませんか？

「白神 BioBlitz 2024」は2024年6月15日の午前10時から翌日の同時刻までの24時間、青森県西目屋村川原平の「弘前大学 白神自然観察園」を会場に実施します。



HIROSAKI UNIVERSITY プレス発表資料

PRESS RELEASE

専門家スタッフとして、県外から古木達郎（元千葉県立中央博物館、植物）、大原昌宏（北海道大学総合博物館教授、昆虫）、渡辺恭平（神奈川県立生命の星・地球博物館教授、昆虫）、林正美（埼玉大学名誉教授、昆虫）らをお招きします。

県内からは、津軽植物の会、白神キノコの会、津軽昆虫同好会などの協力をいただき、多くの有識者、大学院生、学生サークルのメンバーがスタッフとして参加します。

調査は、植物、きのこ、昆虫、脊椎動物などのグループに分かれ、親子連れなど一般市民を含め、約**100人体制で集中調査**を行います。

BioBlitz開催中は、調査活動だけではなく、生き物の観察、名前調べ、標本の作り方実演、白神山地についての講話などの教育プログラムも参加者に対して提供されます。

調査の結果は、参加者に共有され、年度末までに報告書としてまとめられ、出版される予定です。

BioBlitzの活動は、国連が定めたSDGsの17の国際目標のうち、[4. 質の高い教育をみんなに]、[14. ～15. 海と陸の豊かさを守ろう]に大きく貢献するほか、[13. 気象変動に具体的な対策を]へも重要な気づきを与えるものです。

【取材に関するお問い合わせ先】

（ 所 属 ）	弘前大学農学生命科学部附属白神自然環境研究センター
（役職・氏名）	センター長・教授 中村剛之
（電話・FAX）	0172-39-3707 (Tel. Fax.)
（ E - m a i l ）	dhalma@hirosaki-u.ac.jp